

戦争と平和についてのおはなし会 ～上野方小学校～

平成29年8月9日(水)に、上野方小学校6年生を対象に「戦争と平和のおはなし会」を開催しました。

まず、8月1日に起こった富山大空襲の体験記を図書館朗読ボランティア「おはなしを楽しむ会」の方による紙芝居にして、お話を静かに聞きました。



自分たちの住む富山県
でも大変な被害を受けた
空襲があったことを知り
戦争を身近なことで理解
することができました

原子爆弾の悲惨な被害を伝えるDVD「被爆の爪跡」を視聴しました。

恐ろしい原爆の被害を映像や音で感じ、想像以上に戦争の実相を捉えることができました。

辛く悲しい当時の状況を
映像を通して真剣に学習
しました



次に、「おはなしを楽しむ会」の皆さんが朗読される被爆体験記や絵本、戦争のお話を聞きました。



また、長崎県出身のおはなしを楽しむ会の方から、原爆が落とされた後の苦しみや悲しみについてお話を聞きました。被爆した方の体に次々とわいて出てくるウジ虫のこと、中学校担任の女の先生の体にはひどいケロイドが残っていて被爆を理由に結婚できなくなったこと。身近な体験談は、子どもたちに「戦争」を現実のものとして捉えさせたようでした。

最後に、参加者全員で原爆詩を朗読してから、
原爆や戦争で亡くなられた方のご冥福と世界の平和を祈って黙とうをささげました。
おはなし会終了後には、会場に設置してある原爆被害のポスターや戦時中の資料も大変興味深く見っていました。

